

事業所名

アクロステクニカルカレッジ

支援プログラム（放課後等デイサービス）

作成日

令和

8年

4月

30日

法人（事業所）理念	個性・尊厳の尊重：利用者が地域社会で実りある社会生活を実現し、健やかな育成を目指します				
支援方針	一、利用者様を第一と考え、常に快適で満足していただける空間を提供いたします。 二、利用者様を尊重し、社会的自立の形成を育めるようサービス提供いたします。☑ 三、利用者様の気持ちを癒し常に楽しい心持でお帰りいただけるよう鋭意努力いたします。				
営業時間	15時	30分から	18時	30分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容					
本人支援	健康・生活	心と体の健康を育み、安全で穏やかな生活を実現できるよう支援します。 睡眠、食事等の基本的な生活習慣の定着を促し、健康状態の維持・改善に必要な生活リズムを身につけられるよう支援します。 障害の特性に配慮し、時間や空間を本人に分かりやすく構造化し、自分で組み立ててできる行動を増やしていただけるよう支援します。			
	運動・感覚	日常生活に必要な動作の基本となる姿勢保持や上肢・下肢の運動・動作の改善及び習得、関節の拘縮や変形の予防、筋力の維持・強化を図る支援をします。 バランスボールやマットを使った体幹トレーニング、ボールや風船を活用した運動を通じて固有覚や前庭覚を鍛え、関節の可動域を広げ、坂道歩行や段差昇降で筋力の維持・強化を図ります。さらに、感覚を十分に活用できるよう、遊びを通じた支援を行います。視覚を刺激するために的当てやビジョントレーニング、聴覚の活用として音楽に合わせた遊びや指示を聞いて動く遊びを行います。触覚の発達を促すために、ねんどや感触マットを使った遊び、スライム作りやクッキングなどの体験を提供します。			
	認知・行動	一人一人の認知の特性を理解し、それらを踏まえ、自分に入ってくる情報を適切に処理できるよう支援します。 物の機能や属性、形、色、音が変化する様子、大小、数、重さ、空間、時間等の概念の形成を図ることによって、それを認知や行動の手掛かりとしたり 感覚や認知の偏り、コミュニケーションの困難性から生ずる行動障害の予防及び適切行動への対応活用できるよう支援します。			
	言語 コミュニケーション	障害の種別や程度、興味・関心等に応じて、言葉によるコミュニケーションだけでなく、表情や身振りコミュニケーションに必要な基礎的な能力を身に付けることができるよう支援します。 個々に配慮された場面における人との相互作用を通して、相手と同じものに注意を向け、その行動や意図を理解・推測するといった共同注意の獲得や場面に応じた言動・対応など人との関わり方についての学び等を含めたコミュニケーション能力の向上のための支援します。			
	人間関係 社会性	子どもが基本的な信頼感を持つことができるように、環境に対する安心感・信頼感、人に対する信頼感、自分に対する信頼感を育む支援をします。 自身の感情が崩れたり、不安になった際に、大人が相談にのることで、安心感を得たり、自分の感情に折り合いをつけたりできるよう「安心の基地」の役割を果たせるようしていくとともに「愛情の器」を意識しながら愛着形成と修復をキーパーソンをおきながら支援します。 遊び等を通じて人の動きを模倣することにより、社会性の発達や対人関係の構築することや、自分の行動の特徴を理解し、自己を肯定的に捉えられる機会を通じて、気持ちや情動を調整し、状況に応じた行動ができるように支援します。			
家族支援	こどもの感情や不安に寄り添いながら、家族や周囲の人と安定した関係を築き、継続するための支援を行います。ご相談や助言、孤立状態になっていないかなど、ご家族との信頼関係を構築し、障害の特性に配慮しつつ、丁寧な家族支援をしていきます。	移行支援	こどもの状態・ご家族の意向を踏まえ、ライフステージの切り替えを見据えた支援を行います。進路や移行先の選択についての本人や家族への相談援助をするとともに、地域社会への参加・包摂（インクルージョン）を推進していきます。		
地域支援・地域連携	地域の様々な場面で適切な支援を受けられるよう、学校や福祉機関、医療機関などと連携し、情報連携や調整、支援方法や環境調整等に関する相談援助をしていきます。	職員の質の向上	経験や職種に応じた研修の参加を促し、スキルアップの機会をつくっていきます。		
主な行事等	地域社会の一員として活動に参加できるよう、地域のイベントや活動の機会を提供します。 節分、ひな祭り、クリスマス会、ハロウィン、夏の水遊び夏祭り等				